

後援：国庫 独立行政法人 福祉医療機構 社会福祉協議会連合会

不登校やひきこもりの 初期介入支援と 自立支援サポート事業

安心してできるつながりが、
はじまりになる。
～仲間を友とらしめず！～のほのぼのしー
講師：田端 友也さん

参加料
無料

ただ「見守る」だけじゃなく、
一歩に考え、一歩に歩く。
誰かのそばに、そっといゝえががあります。

2025年 6/24 火

開場 18:00～21:00

【会場】 東京都千代田区千代田 2-1-1
【会場】 国府台駅 徒歩10分

【主催】 独立行政法人 福祉医療機構、国府台駅一帯活性化協議会
【後援】 国庫、独立行政法人 福祉医療機構、社会福祉協議会連合会

お問い合わせ先

〒100-0001 東京都千代田区千代田 2-1-1 国府台駅
（国府台駅南口徒歩10分）

お問い合わせ先

〒100-0001 東京都千代田区千代田 2-1-1 国府台駅
（国府台駅南口徒歩10分）

お問い合わせ先

〒100-0001 東京都千代田区千代田 2-1-1 国府台駅
（国府台駅南口徒歩10分）

[illegible]

- 研修会：講師：田邊 友也氏
「安心できるつながりが、はじまりになる」
～田邊友也さんと「いしずえ」のまなざし～
報告書

の充実がうかがえます。

2. 自由記述コメントの傾向

【講演コメント】

- ・「実際の支援事例を交えた具体的な話が分かりやすかった」「支援者としての視点を見直すきっかけになった」といった声が多数。
- ・特にトラウマインフォームドケア（TIC）に関する関心や理解が深まったとの記述が多く見られました。
- ・「また聞きたい」「他の職員にも聞かせたい」といった継続的な学びへの意欲も感じられます。

【トークセッションコメント】

- ・「当事者の体験談が聞けたことが印象深い」「声の持つ力を感じた」といった評価が目立ちました。
- ・当事者や家族のリアルな声に触れられる貴重な機会だったというコメントが多く、共感や学びの深さにつながっている様子が伝わってきます。
- ・「もっと聞きたかった」「質問時間があるとよかった」といった要望も一部ありました。

【イベント全体に対する感想】

- ・「密度の濃い3時間だった」「内容が盛りだくさんで満足」との声が多く、時間配分と質のバランスが評価されています。
- ・また、「第1～2回も参加したかった」「今後も継続してほしい」といった継続開催への期待も寄せられています。

【主催法人へのメッセージ】

- ・「このような取り組みに今後も関わりたい」「ボランティアとして協力したい」など、主体的に関与したい意向を持つ声が見られました。
- ・また、「感動した」「涙が出た」といった感情を伴う感謝のコメントも多く、主催側の意図がしっかり伝わっていることがわかります。

3. 属性情報の補足

- ・性別：女性が約66%、男性が32%。女性参加者がやや多い傾向にあります。
- ・年代：30代～60代がボリュームゾーンで、特に40～50代が多く、中堅層の参加が中心です。
- ・地域：宮崎市が約8割を占め、地元密着型のイベントとなっています。
- ・知ったきっかけ：
 - ・「ちらし」が最多（60%）で、次いで「SNS」「知人」「HP」「その他」がそれぞれ同数。
- ・紙媒体による告知が非常に有効である一方、デジタル媒体の強化余地もあり。

4. 総括と提案

- ・全体として非常に高評価の研修会であり、講演・トークセッションともに満足度が高く、参加者の期待に応える内容であったことが明らかです。
- ・実例、当事者の体験談、支援現場の声が特に好評であり、今後もこのような実践的かつ共感性の高いコンテンツの提供が期待されます。
- ・「また聞きたい」「他の人にも聞いてほしい」といったコメントが多く、次回の広報には「前回好評だった～」という実績の強調が効果的です。
- ・ボランティア参加や運営協力を申し出る声も一定数あり、今後の活動継続、拡充の際の貴重なリソースとなり得ます。
- ・一部環境面（冷房・音声）の改善要望もあるため、次回以降はより快適な会場運営を心がけると、さらに満足度が向上するでしょう。



アンケートの自由記述のコメント

1. 田邊氏講演へのコメント

- ・ひきこもり、トラウマ、精神疾患と、トラクマインフォームドケアが理論的に学べた。
- ・言葉がけに、意識を持って関わってきたことが、間違っていなかったと知れたこと。更に、今後どう関わっていくかを考える機会になった。
- ・いろいろと納得できました。
- ・分かりやすい事例での説明だったので、理解できた。
- ・自分自身に対しても Non-TIC してないかなと振り返りました。
- ・理論的に理解ができてとても為になった。時間上、最後まできけず残念でした。

- TIC の大切さに気づかされました。
- 分かりやすかった。自分の息子をひきこもり約 10 年、離脱させた支援方法が間違いなかったと思いました。
- ト라우マインフォームドケアについて、重要性。
- 内容が具体的であった。
- たくさん例の紹介があり、具体的で分かりやすかった。
- 無意識に良くない対話をしてると気付けた。
- non-TIC→TIC へのかかわり、考え方、理解とテクニックについて。
- 暴れたり、不登校の子供に対してどう接していいのか悩む事が多くありました。その子だけを見るのではなく親も含めてケアをしていく必要があると学びました。でも、私たちにあってくれないご家族もあり、なかなかうまくいかない事が多いです。
- TIC、non - TIC を知ることができた。訪看であり、研修でのことを活かし実践できたらと思います。
- 今回の研修を受けて、自分の行動が non-TIC であったなと感じた。
- TIC の理解すること。
- 内容が非常に具体的でわかやすかったです。Youtube 等で理解を深めていきます。
- 今まで、なるべく傾聴することを意識していたつもりですが、気付かないうちに non-TIC を行っていた場面に気付かされました。
- TIC、刺激になりました。関わり方は日々勉強です、ありがとうございました。
- 今までの自分の看護観を見つめ直す機会になった。TIC の必要性をととても感じた。



- 支援の根本的な考え方にフォーカスして自らの支援のあり方・考え方を見直すきっかけとなりました。
- 自身の支援が TIC に適っているか振り返りたいと思いました
- 支接者側の行為、態度、姿勢、家族の TIC。対人関係の適度な程よい距離感が必

要ですね。実感しています。

- TIC との向きあい方、普段の会話の中にもうまく取り入れる事が大切な事が理解出来ました。
- 視点を広げて納得、おはなしがスムーズにどんどん入ってきましたよ。虐待から ADHD 似など環境や受けたことなど初めて、知ったです。トラウマ、条件づけ、複雑性 PTSD とその複雑性を初めて学びました。
- TIC を土台に思いも合わせて深く納得、日々に話がしたいです。それが必要と思いました。
- TIC を学びたいと思いました。
- 不登校児とかかわっていますが、暴力、虚言等があることもあり、トラウマとの関係（の影響）が納得いくものでした。支援者として自己決定に至る、対話プロセスが重要であるとわかりました。
- TIC を意識して対話をするということ。
- 否定しないというシンプルなことでも、支援の中では難しく感じる場合があります。テクニックも学びながらがんばろうと思えました。ありがとうございました。
- TIC、本人にある意思決定が大事であるか知ることができた。
- 現場に沿った理論、話し方内容、身につまされる様に感じ勉強になりました。
- トラウマインフォームドケアという言葉と内容を少し分かった気がします。
- TIC、non-TIC の考え方、思いの持ち方を分かり易く、けれど情熱を持って語ってくれました。
- TIC という実際の訪問で活用できる考え方と関わり方を知ることができたから。
- 実践していることの確認ができた。
- よかれと思っていた支族が、non-TIC だったと思い、反省できた。

2. トークセッションへのコメント



- 支援者側の立場として抱えるストレスにも着目されていたことが嬉しく思った。
- 支援者側のサポートについて。
- TICについて、初めて具体的に学ぶことができた。
- 訪問支援の現状を知ることができた。（ドアに話しかける）
- 当事者との関係構築だけでなくスタッフ同士の連携も必要と再認した。
- わかろうとする態度。上から目線にならない、一緒に伴走していく。
- 会話の中で支援をしようと“提案”や“選択肢”を出すことがあったが、逃げ場のない質問が相手を苦痛にしていたのかと感じた。
- TICの理解、対話、伴走支援。
- 引っ張るのではなく、底を支えるというイメージが響きました。
- 会場とのやりとりや、当事者の内田さんの体験談に興味を惹かれました。
- 訪問だから出来ることは何かという視点で関わりを持つ事が支援する側として、社会的役割を果たす意義につながると考えました。
- 診療の限界を訪看がサポートするというのはとても共感できました。
- 環境の変化はひきこもりではなくてもきつい。納得です。想像すること大切です
ね。
- TIC、トラウマをよく理解する支援する際に取り入れられる様に取り組みたい。
- 内田さんの実体験もあってより聞きいりました。行くだけ訪問はなるほど、講演を深めるところで支援者側の在り方、関わり方を具体的なことで学びました。支援者自身の心のケアの大切さも感じました。”
- 環境の変化を理解してあげる内容。
- うっかり、non-TICをやっていないかを気をつけるようにしたいと思えました。当事者の方の気持ちをわかっているつもりでも、お話を聴いて気づかないことがあるとわかりました。
- 支援者を増やしていくには、まず関係性であり、分かってくれる人を増やせるために信頼関係を築いていきたい。
- 内田さんの事例「ほっといてもらえる方がよかった」の弁。
- チームでの支援を否定しないこと等、楽しむユーモア必要、心がけようと思いました。
- 実際の声を知ることができた。
- 田邊さんが、写真と同じように腕を組んでいる姿が見れて良かったです。当事者との会話、迫力さえ感じました。
- 心に残った成功体験を引っぱりあげるのではなく支えてあげる。
- トークの内容が訪問看護の効果にシフトしていましたが、最後に「対話して納得した上で判断する」分離の仕方という話が良かった。自我ができてきて自力で動けるためには、外界を知らないと自我さえ生まれない。外界の刺激で自分を認めてくれる存在。
- 当事者の気持など本音の話がきけた。
- 訪問支援について、実際のイメージができるようなやりとりでした。内田さんの体験にもとづくお話が、とても説得力があったと思います。

- ・引きこもりから脱却された当事者様から素直な思いを聞くことができたから。
- ・質問がもっと沢山出て放しかった。
- ・訪問看護支援者に対しトークセッションしてくれて勉強になった。

3. イベント全体へのコメント

- ・私自身、ソーシャルワーカーの勉強をしていて、大変参考になる。お話や知識などたくさんのおみやげをありがとうございました。
- ・実践的な話はあまりないと冒頭言われていたが、十分、実践に役立たせたい内容ばかりだった。
- ・ありがとうございました。
- ・中高校生世代の子ども達にきいてほしいと思いました。
- ・現在、不登校児童の相談支援をしているが家族支援の困難さを感じてます。
- ・当事者（ひきこもり経験者）のセッションを楽しみにしていました。内田さんの笑顔がステキでした。ピアと共に働く、専門職として、多くのことを学ばせて頂いてます。ピアスタッフという「専門職」大きな存在です。ありがとうございました。
- ・現在、発達障害の支援（放ディ・児発）をしており、不登校になってしまうと関われなくなり困っています。家族に対してどのように話しかけたらいいのか具体的に知れて良かったです。
- ・大変参考になりました。ひきこもりの方に限らず、対等に接する、相手を尊重する、家族支援も考えるというのは大切だと感じました。
- ・トラウマをきっかけに、負の連鎖が広がっている構図ができあがる。TIC の考え方を理解し、行動し導いていくことで、本人を尊重した行動ができていくのかなと思う。
- ・具体的なスキルにも興味がある。
- ・精神科訪問が初めてで、特に不登校の子供達が多いので、すごく勉強になりました。自分が言ってる事が正しいのか。そうでないのか、いつも悩みますが、親御さんのサポートも含めて介入していきたいと思いました。
- ・これからの支援で活かせる内容であり、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・TIC という言葉を初めて知りました。ありがとうございました。
- ・あらためて、コミュニケーションの大切さを実感しました。
- ・トラウマに対してだけにフォーカスするのではなくて、連想される物や音、環境なども理解して、相手の訴えに対してしっかり会話することが大事であり、こちらの勝手な思い込みを押しつけないようにしていきたいと感じました。
- ・熱量が高く、すぐにでも実践したくなりました。
- ・お話の中で、時に情報の共有（当事者との）が必要となるけれども、「待つ」というスタンスを大切にして、関わりたいと思いました。
- ・本人と家族を支える、否定しない支援の大切さを改めて感じました。ありがとうございました。

- “わかろうとする気持ちを持ち続けると相手には伝わる” 支援者として必要な考え方だと感じました。上から目線の言葉に気をつける。ユーモアは必要。状況を見る必要はある。
- ゆっくりと本人と対話しながら、当事者を理解しようとする態度を相手に伝えながら場をわきまえた支援をして行くことを改めて理解できました。ありがとうございました。
- お互いに理解し合える環境やプロセスを築いていく。
- 支援に携わる同僚にもぜひ伝えたいと思う内容でした。実践で生かしたいです。
- ひきこもり支援について困っている相談員さんも多く、私の地域でも勉強会（研修会）をしていただきたいと思います。とても良い研修会でした。ありがとうございました。
- 参加させてもらって良かったです。講演スタイルも考えられていると感じました。
- 支援のむすびがしさ、家族支援の大切さ、本人の意志を大切に。
- 支援者、ひきこもりの子を育てる親として、今一度考えを改める機会となりました。“ミネラル不足”という言葉にも興味があります。また、お話を聞きたいです。ありがとうございました。
- 皆さんの集中している空気感が、すばらしかった。
- “よかれと思って” してきた関わりにハッとすること大切な体験ができましたが、なぜか傷つきはありませんでした。今日の研修会の雰囲気、TIC の意味に気づけたような気がします。
- 有意識な講演会でした。
- もう少し明るい感じで進行して欲しい。

4. 宮崎もやいへのコメント

- とてもすばらしい研修会に参加出来ました、本当に良かったです。ありがとうございます。
- 当事者や家族、その周囲の方々に、必要なサポートが届きますよう、今後も働きかけていきたいと思ひます。ありがとうございます。
- 応援しています！！すごい！！！！
- 地域活動センターかふえらて、大変興味深く一度見学に伺ひたいです。居場所を求めている方に多い中、実際に足を運べる場所をもっている方が少ない気がしています。
- このような研修会の場を用意して下さいありがとうございます。支援者がグループワークなどできるといいと思ひました。
- 今後もこの様な勉強会があれば参加したいです。
- 次回の研修会が楽しみです。
- 貴重な講演会ありがとうございました
- 次回も参加させて頂きます
- 今回初めて研修会参加させて頂きました。また、勉強させて頂けたらうれしいで

す。ありがとうございました。

- ・道がなければ作る、狭間をひろっていく、その姿勢にはただただ感動します。とても意義深くある講座でありがたいです。
- ・対話、否定しない、ささえる、自分のケア、トラウマインフォームドケア、広める。
- ・今回、とてもいい企画をしていただきほんとうにありがたいと思いました。
- ・今日はありがとうございました。心がけようと思うこと沢山あり勉強になりました。
- ・当事者に向きあう皆さんのトラウマが（少し・たくさん）ほぐれる良き機会をありがとうございました。

「精神障害の人は、社会を新しく変えて行く存在である！」

NPO 法人 宮崎もやいの会

「僕は「できない理由」ではなく「どうすればできるか」を考えたいんだ。君はどうだい？」

▼ホーム ▼トピックス ▼実施活動 ▼写真ワークショップ ▼講師の動画フォト ▼メディア掲載 ▼資料室 ▼お問い合わせ

宮崎もやいの会とは	NEW かふえらて広報紙 7月号掲載 (PDF)	NEW 研修会第3弾！サランと 関係機関関係内文部職	NEW 山梨氏を助成事業で前 着した報告	2023年度九州地区介護 福祉大会第6分科会での 講演をPDFで掲載
宮崎もやいの会活動案内	広報紙「すてっぴ」 2024秋号発行PDF	NEW 研修会第1弾山梨氏の 地域支援・家族支援の セッションを掲載	NEW 研修会第2弾の田邊氏 の講演より語り及所見	見えない障がいをもた げうへ精神障がいへ 研修会の案内及び講師 相良真由氏の手帳の資 料掲載(PDF)
活動する当事者達	かふえらてを利用して の利用者コメント掲載	NEW 研修会第2弾の田邊氏 の講演より語り及所見	NEW 研修会第2弾の田邊氏 の講演要旨を掲載	みなの風太郎学院 人権教育研修会かふえ らて紹介資料掲載
精神障害の人の現状	支援センターかふえら てブログを開設	研修会第2弾	研修会第2弾の田邊氏 の講演要旨を掲載	講演を聴いて！アテ キートのコメント掲載
想いに残る情報		研修会第1弾	研修会第1弾の山梨氏 の講演の語り及所見を 掲載	精神障がい者自立支援 ネットワーク活動 定例会の案内と報告及 び賛同者掲載
精神障害！ 誰に相談すべきか？	地域活動支援センター 出張「かふえらて」を 2017年4月オープン	研修会第1弾	研修会第1弾の山梨氏 の講演の語り及所見を 掲載	ネットワーク活動第1 回定例会取材記事掲載
先輩的精神障害当事 者の宮崎講演録を掲載		研修会第1弾	研修会第1弾の山梨氏 の講演の語り及所見を 掲載	障害者差別解消法の研 究報告書掲載
議員の日の日見国会		研修会第1弾	研修会第1弾の山梨氏 の講演の語り及所見を 掲載	
リンク (国内・海外関係 機関、その他)		研修会第1弾	研修会第1弾の山梨氏 の講演の語り及所見を 掲載	
新報会員募集		研修会第1弾	研修会第1弾の山梨氏 の講演の語り及所見を 掲載	
お問い合わせ	広報紙「すてっぴ」 2016夏号PDF掲載	研修会第1弾	研修会第1弾の山梨氏 の講演の語り及所見を 掲載	
支援センター「か ふえらて」ブログ	広報紙「すてっぴ」 2016秋号PDF掲載	研修会第1弾	研修会第1弾の山梨氏 の講演の語り及所見を 掲載	
写真集「えんぶ」	広報紙「すてっぴ」 2017春号PDF掲載	研修会第1弾	研修会第1弾の山梨氏 の講演の語り及所見を 掲載	
精神障害者自立支援 ネットワーク活動	広報紙「すてっぴ」事 業所紹介版付録	研修会第1弾	研修会第1弾の山梨氏 の講演の語り及所見を 掲載	
WAVE photo Gallery		研修会第1弾	研修会第1弾の山梨氏 の講演の語り及所見を 掲載	
Sites: 2009.9.23 Lastup: 2025.07.06		研修会第1弾	研修会第1弾の山梨氏 の講演の語り及所見を 掲載	